
タイトル	河西勝教授 略歴・著作目録等
著者	
引用	季刊北海学園大学経済論集, 58(4)
発行日	2011-03-31

河西 勝教授 略歴・著作目録等

1. 学 歴

昭和36年4月	北海道大学教養部理類入学
昭和41年3月	北海道大学農学部農業経済学科卒業（農学士）
昭和41年4月	北海道大学大学院農学研究科農業経済学科入学
昭和43年3月	北海道大学大学院農学研究科農業経済学終了（修士修了）
昭和45年4月	北海道大学大学院経済学研究科経済政策専攻博士後期課程入学
昭和47年3月	北海道大学大学院経済学研究科経済政策専攻博士後期課程単位取得満期退学
平成11年9月	博士（農学）・北海道大学 「第一次大戦前における小麦・砂糖市場の発展とドイツ農業の生産力形成」

2. 職 歴

昭和43年4月	専修大学美明農工短期大学農業経営学科講師（昭和45年3月まで）
昭和47年4月	北海道大学経済学部助手
昭和50年4月	北海学園大学経済学部講師
昭和52年4月	北海学園大学経済学部助教授
昭和56年4月	北海学園大学経済学部教授
昭和56年4月	北海学園大学大学院経済学研究科修士課程担当
平成10年4月	北海学園大学大学院経済学研究科博士課程担当
昭和61年8月～12月	カナダ・レスブリッジ大学客員教授
平成2年8月～3年7月	英国ワーリック大学社会学部客員研究員
平成9年9月～12月	カナダ・レスブリッジ大学客員教授

3. 所属学会

経済理論学会，進化経済学会，日本コーポレート・ガバナンス・フォーラム

4. 研究業績

著 書

1977年12月	共著『資本論を学ぶⅤ』	有斐閣
1977年12月	共著『経済学批判2』	社会評論社
1979年3月	共著『経済原論』	世界書院
1979年12月	共著『経済学原理論』	社会評論社

- | | | |
|----------|-----------------------------|--------|
| 1984年3月 | 単著『北海道における郵便貯金とパーソナルファイナンス』 | 北海道郵政局 |
| 1985年7月 | 共著『宇野弘蔵の世界』 | 有斐閣 |
| 1989年7月 | 共著『経済理論学会年報第26集』 | 青木書店 |
| 1990年4月 | 共著『世界農業問題の構造化』 | 世界評論社 |
| 1999年10月 | 共著『経済理論学会年報第36集』 | 青木書店 |
| 1992年7月 | 単著『農業資本主義—その歴史と論理—』 | 世界書院 |
| 1995年7月 | 共著『エンゲルスと現代』 | 御茶の水書房 |
| 2009年4月 | 単著『企業の本質—宇野原論の抜本的改正—』 | 共同文化社 |

訳書

- | | | |
|---------|------------------|---------|
| 2000年6月 | 共訳 OECD『世界の規制改革』 | 日本経済評論社 |
|---------|------------------|---------|

論文

- | | | |
|----------|--|---------------------|
| 1969年3月 | 単著「パルプスの農業恐慌論」 | 『専修大学美唄農工短期大学年報』(1) |
| 1971年7月 | 単著「パルプスと帝国主義—世界市場と農業恐慌を中心に—」 | 『北海道大学経済学研究』21(1) |
| 1972年3月 | 単著「パルプスと帝国主義—植民政策と崩壊を中心に—」 | 『北海道大学経済学研究』21(4) |
| 1973年3月 | 単著「ドイツ社会民主党の農業論争に関する若干の考察」 | 『北海道大学経済学研究』23(1) |
| 1974年1月 | 単著「帝国主義段階と農業問題—大内力『農業経済学序説』への批判的覚書—」 | 『北海道大学経済学研究』23(4) |
| 1974年9月 | 単著「土地合体資本と地代論」 | 『北海道大学経済学研究』24(3) |
| 1974年12月 | 単著「差額地代と収穫逓減法則について」 | 『北海道大学経済学研究』24(4) |
| 1975年7月 | 単著「ブラッセル砂糖協定(1902年)からみたドイツ農業の特質」 | 『北海学園大学経済論集』23(1) |
| 1975年10月 | 単著「地代論と土地改良」 | 『北海学園大学経済論集』23(2) |
| 1976年1月 | 単著(翻訳)ヘルマン・マエウル「ラントシャフト信用制度における国民経済的諸問題」 | 『北海学園大学経済論集』23(3) |
| 1976年3月 | 単著「差額地代Ⅱの論理」 | 『北海学園大学経済論集』23(4) |
| 1986年2月 | 単著(翻訳)ウラディミール・アンドレフ「資本の国際的集中と世界資本主義の再編」 | 『北海学園大学開発論集』49(4) |

- 1987年10月 単著「農業集約化の諸前提(1)(2) 『北海学園大学経済論集』
1988年1月 (3)』 35(2), (3), (4)
1988年3月
- 1990年3月 単著 Finance Capital in the Highest 『北海学園大学経済論集』37(4)
Stage of Capitalism
- 1990年12月 単著「地代と土地所有」 『北海学園大学経済論集』38(2)
1991年9月 単著「穀物関税政策の展開」 『北海学園大学経済論集』39(2)
1991年12月 単著「19世紀末農業危機の克服—ポー 『北海学園大学経済論集』39(3)
ゼン州の場合—」
- 1993年12月 単著 Privatization in East Germany; A 『北海学園大学経済論集』41(3)
Case Study of the Shipbuilding
- 1994年1月 単著「トロイハント方式は成功したか 『月刊フォーラム』1月号
—東ドイツの民営化—」
- 1994年3月 単著 An Explanation for Uno's Political 『北海学園大学経済論集』41(4)
Economy
- 1994年7月 単著「契約と財産の経済学(1)(2) 『月刊フォーラム』7, 8, 9,
~ 10月 (3)(4)』 10月号
1996年10月 単著 How to Restructure Hilferding's 『北海学園大学経済論集』44(2)
"Finance Capital"?
- 1996年10月 単著「流通形態論」 『北海学園大学経済論集』44(2)
1997年1月 単著「生産過程論」 『北海学園大学経済論集』44(3)
1997年3月 単著「分配関係論」 『北海学園大学経済論集』44(4)
1998年10月 単著「貿易戦争から企業倫理へ」 『北海学園大学経済論集』46(2)
2000年3月 単著「第一次大戦前のドイツ農業における 『北海学園大学開発論集』(65)
生産力形成と金融資本」
- 1998年11月 共著「中国における地域開発政策の課題 『北海学園大学開発論集』62
—改革開放以降の地域間格差と食糧需給
の問題を中心に—(カマルディン氏と
の共著)
- 1999年11月 共著「中国産物流通体制の自由化と内陸 『北海学園大学開発論集』64
果樹産地の市場対応—ウイグル自治区ト
ルファン中心に—(カマルディン氏と
の共著)
- 2002年3月 単著「福祉国家, 財政赤字, そして税制 『北海学園大学経済論集』49(4)
改革」
- 2004年3月 単著「コーポレート・ガバナンス—そして 『北海学園大学経済論集』
三段階の政治経済学—」 51(3・4)
2006年6月 単著「宇野理論の挫折と転換—企業の本 『北海学園大学経済論集』54(1)
質・形態・ガバナンスをめぐる—」

2008年3月	単著「小麦・砂糖世界市場とドイツ農業	『北海学園大学経済論集』
2008年6月	生産力(1)(2)(3)」	54(4), 55(1), (2)
2008年9月		
2008年3月	単著「企業の本質(1)(2)(3)(4)	『北海学園大学経済論集』
2008年6月	(5)」	55(4), 56(1), (2), (3),
2008年9月		(4)
2008年12月		
2009年3月		
2009年3月	共著「夕張調査研究ノート(1)―夕張	『北海学園大学経済論集』56(4)
	における中小零細事業者の経営実態と課	
	題」(川村雅則氏との共著)	
2009年12月	単著「ヨーロッパにおける租税国家の成	『北海学園大学経済論集』57(3)
	立」	
2010年3月	単著「公開会社の現代化(序説)―法人	『北海学園大学経済論集』58(1)
	金融・統治・課税―	
2010年12月	単著(翻訳)リチャード・バード「なぜ	『北海学園大学経済論集』58(3)
	法人に課税するか」	

学会報告

1988年10月	単独「土地資本概念について」	経済理論学会
1989年7月	単独 Finance Capital	英国 CSE
1993年7月	単独 Privatization in East Germany	英国 CSE
1998年10月	単独「イギリス左翼のコーポレート・ガ	経済理論学会
	バナンス論争」	
2007年10月	単独「企業の本質・形態・ガバナンス」	経済理論学会
2008年7月	単独「労働価値説と限界原理」	経済理論学会北海道部会
2008年10月	単独「労働価値説と限界原理の統合」	経済理論学会
2010年10月	単独「公開会社の現代化―法人金融・統	経済理論学会
	治・課税の二大転換―	